

News Letter

vol.46
2021. 2月号

毎月発行

今月のよっしー

恵子先生、熱いメッセージありがとうございます！身が引き締まる思いです。コロナ禍での実習を、先生のような各地の熱い皆様が真摯に受けてくださり、地域包括ケア実習ができることを本当に学生と一緒に喜んでおります。実習初日午前中を使って徹底的にその意義と目的を伝え、感謝の気持ちを忘れないようにと念を押して現地に送り出しております。挨拶や積極性の発露の面で今ひとつかもしれませんが、彼らは本当にいい学生達です。現地に行くと驚くのは「患者さんや皆様の温かさ」と自分の五感を通じて得られた新鮮な感動です。地域の視点も身につけて戻ってきます。これも皆様のおかげです。良い医師になることを私は確信しております。これからもパッション（熱意）だけは彼らに負けないように、「地域医療及び地域での教育」の旗を振り続けていきたいと思っております。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「アイレHDクリニック」

アイレHDクリニック 院長 日高 恵子 先生

私は1991年に宮崎医科大学を卒業し2014年に宮崎市新名爪にアイレHDクリニックを開院しました。同級生の吉村学先生が地域医療の担い手を育成するためにUターンされることになり、教授就任祝いを兼ねた同窓会で実習への協力の呼びかけがありました。その熱い思いに触発され、実習を受け入れることになりました。



当院では副院長の鬼塚恭子先生（循環器内科）とともに人工透析内科を中心に一般内科、シャント手術やPTA、腎移植前後の診療などを行っています。女性の視点を生かした温かい雰囲気を目指しており、子育て中のスタッフが多く在籍しています。実習ではできるだけ手技を体験する機会を設け、多職種連携、腎代替療法、地域連携医療を学んでいただきたいと思います。

教えることは最高の学びであり、医学生からは活力と刺激をもらっています。



つのだより

～都農町の寄附講座「地域包括ケア・総合診療医学講座
(通称：都農町まるごとケア講座)」からの定期的なお知らせ～

都農 first Programと命名して昨年10月に始まった都農長期滞在型地域医療実習第1号の学生が先月修了日を迎えました。コロナ禍によって対面授業もままならない中始まった臨床実習。序盤は緊張と不安が垣間見え、慣れない環境に戸惑いもあったことと思います。それでも本人の勤勉さや積極性もあり、そこに責任感もプラスされて日々成長していく様子が見られました。

都農町国保病院の先生方やスタッフの指導の下、日々変化する患者さんの症状に悩み、快方に向かえば安堵しつつも次の段階へ。気になる患者さんがいれば早朝から病室を訪れ、時には患者さんのお宅に付き添って行くこともありました。一つの地域に長くいることで得られる貴重な経験ができたのではないかと思います。

「僕が良い医者になることが恩返しです」と語ってくれました。

今後たくさんの実習を経て“恩返し”してくれる日を待ちたいと思います。



地域包括ケア実習、再開しました。

緊急事態宣言の発令により、年明けの地域包括ケア実習4週間はすべて課題付与式の実習となってしまいました。2月からようやく現地での実習が再開しました。

初日2月1日(月)は午前中に初日レクチャーを実施、12名全員の顔合わせや松田先生からのレクチャー・実習目的の共有を図ったのち、県内各地での4週間の実習がスタートしました。

最終日である2月26日(金)は14時から実習報告会を行いました。学生からは「患者の背景を理解し、他職種連携を大切にしながら医療の知識、技術を深め、患者さんとその家族がなるべく苦しめないような医療を提供したいと強く思う」「将来働きたい場所をあらゆる角度から見ることができて良かった!」「問診・診察に加えて、治療方針まで考え、さらには実技系まで行うことができ、経験値が1万くらい上がった!」などなど多くの感想がありました。どの学生も様々な経験を通して「地域医療」について理解を深めるための貴重な4週間となったようです。現地での学びは最大の学びです。お世話になった医療機関や関係者の皆様、ありがとうございました。

3月は春季休業のため実習は休止になりますが、4月からの再開に向けてまた準備を進めていきます。



▲初日レクチャーの様子

地域医療ガイダンス2021 冬の陣を実施しました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医学科1年生の地域枠・地域特別枠の学生が対象の毎年8月に実施される地域医療ガイダンスは中止となりましたが、2月7日に宮崎県独自の緊急事態宣言が解除されたことから急きよ2月18日(木)に規模を縮小した上で実施することにしました。急な案内となったことから10名という少々寂しい参加人数でしたが、それでも意欲的に参加してくれました。

田野病院での実地実習(診察見学)や院内見学、多職種による業務説明等を受けましたが、ミッションは「必ず患者さんと会話すること」。患者さんと対話をしながら、近くの調剤薬局まで付き添う学生もいました。

午後からは大学に戻り、実地実習のまとめを行ったあと、田野病院で実習中だったクリニカル・クラークシップⅠの4年生5名が合流し、4年生からの解説や追加のまとめがありました。その後、全体ディスカッションを行いました。16時からはクリクラⅡ地域包括ケア実習で実習中の5年生6名とオンラインでつなぎ、実習内容の紹介をしてもらいました。

1年生からは「医学的知識だけでなく、コミュニケーション能力は必須だと気付いた」「コロナ禍に病院ではどのような対応をしているのか、先輩方がどんなことをしているのかを身をもって知ることができた」「患者さんから優しく応援され、勉学にしっかりと励み早く医師となって地域に貢献したいと思った」等の感想がありました。また、「先輩みたいになれるように勉強しないといけない」と刺激になった学生が非常に多かったようですが、数年後の自分達の姿になります。今回のガイダンスで地域医療について、その背景について、またそれ以上に多くのことを学んでくれましたが、是非来年度の地域医療ガイダンスもまた参加してほしいと思います。



▲移動手段は大学のマイクロバス



▲田野病院の院内見学の様子

講座のイベント情報

- 第6回地域包括ケア実習指導者講習会
3/6(土) 14:00~16:00 ★Web開催
- レジデント・デイ
3/26(金) 19:00~ ★Web開催

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。



4年、5年も参加したまとめの様子▶

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryoy@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

